

「アーケード内部の温熱環境の実態把握」

2000.9.1

居住環境学専攻

講師・辻原万規彦

レポートの作成にあたって

測定結果について

- 1) 午前2回, 午後2回の測定を行ったが, 各回10分間の平均値を取って, その回の測定値とする。
- 2) 測定場所による違いや測定時刻による違いはあるのだろうか? あるとすれば, どう違うのだろうか?
- 3) また, アーケードの外部と内部の違いはあるのだろうか? (後日, メールで熊本気象台での観測データを送付する予定。これもあわせて比較してみよう。)

アンケート結果について

- 1) アーケードを通行する人は, どのように感じているのだろうか?
- 2) 場所によって違いはあるのだろうか?
- 3) 測定結果(気温と湿度)と何らかの関係はあるのだろうか?

ヒント

$$DI = 0.81 T + 0.01 U (0.99 T - 14.3) + 46.3$$

ここで, DI : 不快指数

T : 気温()

U : 相対湿度(%)

不快指数が, 75以上になると「やや暑い」

80以上になると「暑くて汗が出る」

85以上になると「暑くてたまらない」

その他

- 1) その他, 気が付いたことは, 何でも書いてみよう。測定時のメモやアンケート時の意見なども。
- 2) どのようなアーケードが望ましいだろうか? どうすれば, 快適なアーケードができるであろうか?
- 3) この講義の感想, こうしてほしかった等の要望も, あわせて書いておいてください。

提出物

- 1) 図表なども含めて, A4サイズ2枚以上のレポート(できるだけワープロによるものが望ましい)
- 2) フロッピーディスクによる提出でも可(ただし, MS-Word, もしくはMS-Excel形式に限る)

提出先&質問など

環境共生学部・旧棟4階辻原研究室(内線492, m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp)

もしくは平川助手室(内線481, hirakawa@pu-kumamoto.ac.jp)まで

提出期限

9月末日(厳守のこと)